

令和6年度第1回酒田市男女共同参画・女性活躍推進懇話会提案等概要

【企業・働き方に関して】

- ・市内には魅力的な企業がたくさんあるので、女子中高生向けオフィスツアー※を実施してはどうか。高校での全生徒を対象とした講座も大事だと思うが、関心の高い若者にターゲットを絞ることで、地元定着につながるのではないかな。

※東京都にて、STEM【注】分野での女性活躍を推進するため、女子中高生向けのオフィスツアーを実施し、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを目的に実施している。

【注】STEM: Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) の4分野の総称

- ・えるぼし認定などにインセンティブの創出が必要ではないか。
- ・各種認定等（えるぼし認定、リーダーの会、日本一女性が働きやすいまちを目指す！）に関し、市民に対し、一層の認知度を高める必要があるのではないかな（まだまだ足りない）。
- ・来年度、えるぼし認定の周知を頑張ってもらいたい。また、企業向けの周知もぜひお願いする。
- ・えるぼし認定の経営者への周知が必要ではないか。
- ・えるぼし認定については、個人事業主は取得できないが、何かしらPRできる場があると良いのではないかな。
- ・えるぼし認定や育休を進める側と受ける側の差があると感じた。
- ・育休を取らせる側の企業に対する支援策も作るべきではないか。
- ・男性の育休を当たりまえとするために（女性と同じように）、企業と上司、経営者の理解と声掛け、セミナーの開催が必要ではないか。
- ・働く人と企業のどちらもメリットを感じることができる新規事業が必要ではないか。

【男女共同参画に関して】

- ・アンコン、ジェンダー等のセミナーを小中学校で開催してほしい。
- ・アンコン下敷きの作成も良いのではないかな（例：言い方に気を付けよう等）。
- ・仕事、経済やアンコンシャス・バイアス等に関し、小学校など低年齢からの教育が必要ではないか。
- ・“アンコン部”のようなものを作って、いろいろなクレームや対応、言い方をかえる等の一覧を下敷きやゴミ出しカレンダーの一部に記載するなど、角を立てずに世の中を変えよう方向に向かうと良いのではないかな。
- ・孫育て楽々講座※（仮称）の中で、（アンコンに関する）若い世代が辛い、心折れるワードやフレーズを伝える事業を開催してみるのも良いのではないかな。

※祖父母がアンコンフレーズを学ぶ講座？

- ・アンコンは子供たちよりも大人に多い。体験談募集はいい取組みだと思う。
- ・年配の方のアンコン的な言い方（女の子は～、男の子は～）が子どもに受け入れられなくなっているから、地域へのセミナー・講座の開催が必要かなと思う。
- ・各コミセンでの出前講座において、男女共同参画の啓発を行い、意識改革に繋げる必要があるのではないかな。

【子育てに関して】

- ・子どもを預かる場所（学童・休日保育）の充実が求められている。より、市民等のニーズに耳を傾ける必要があるのではないか。
- ・明石市モデル（所得制限なしの保育支援無料化）を酒田でもぜひトライを！という（他委員の）意見に賛成する。
- ・ファミリーサポートセンター（ファミサポ）の最初の利用のハードルを下げる必要があるのではないか。

【意識啓発・セミナーに関して】

- ・意識啓発を楽しめるイベント的な企画ができればよいのではないか（参加したくなる仕掛けをいかにするかが課題）。
- ・セミナーが多めだが、もっと楽しんで参加できるイベントがあればありがたい。
- ・セミナー以外にも、広く市民参加型の事業をもっと増やしたほうが良いのではないか。
- ・（各種セミナーの）PR方法の検討が必要ではないか。
- ・セミナーだけではない取り組みも必要ではないか。
- ・セミナーに参加しない人への意識づけをどうするかが課題ではないか。
- ・各種セミナーに関し、（より多くの）夫婦・パートナーとの参加が必要ではないか。
- ・「日本一女性が働きやすいまちを目指す」に関しては、市民への周知がまだまだ足りない。
- ・LGBTの人も住みやすい場所に（9/28の市内でのレインボーマーチは、今後、市がどう関わられるのか興味がある）。
- ・各種のサービスを体験できるクーポンがあっても良いのではないか。

【家事に関して】

- ・中町でデリ（デリカテッセン：惣菜）を開店してほしい（夕食を作るのが苦痛。仕事帰りに手軽に何品か買って帰りたい）。
- ・家事シェアについて、ちょっとした相談ができる仕組みが必要ではないか（クーポン配布、紹介、DX（LINE、コールセンター））。
- ・外部家事シェア（家事代行サービス）を普及させて、気軽に利用できたらよい（日々の家事を楽にする分）。
- ・家事代行サービス事業者の起業支援事業を開催してみてもどうか。
- ・「家事シェア、家事代行サービスクーポン」の拡大を進め、子育て世代～介護 etc 広い世代にお試しのチャンスを与えてほしい。
- ・家事シェアについて、家事代行サービスを周知し、一般利用のハードルを下げる取り組みが必要ではないか。
- ・転入時などに、（市内の）家事代行サービス一覧の情報提供も必要ではないか。
- ・家事シェアは、家庭で話し合えるきっかけ作りができれば◎。
- ・家庭内の役割分担表をもっと配る必要があるのではないか。
- ・家事役割分担は理解が進んできていても、実践できていない。一歩踏み込んだ仕掛けも必要ではないか。

- ・色々な意見が聞けた。PRや選択できる環境を与えることが大事ではないか（男性が家事をしない選択等。それぞれの家庭の考え方を尊重）。

【教育に関して】

- ・美術館などの公共施設の利用無料化の実現（学ぶ機会の平等化）ができればいい。
- ・「弁当の日」「いただきます」等の食育に関するドキュメンタリー映画を、市内全小・中で上映してみても良いのではないか。